



# With Corona時代の 名古屋大学授業実施方針

名古屋大学 副総長（教育・留学生担当）  
藤巻 朗

# 本日の内容

---

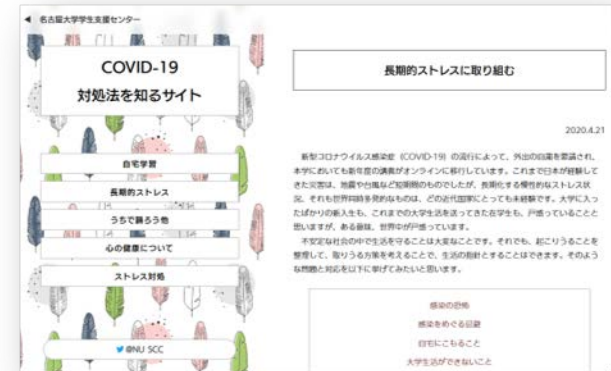
- COVID-19感染拡大防止に向けた授業実施方針（春学期）
- 学生の声の把握
- 秋学期の授業実施方針

# COVID-19対応のまとめ（春学期）

- 春学期の講義・演習は、LMS管理のもと、すべてICTを利用する遠隔授業へ。
- 講義・演習の教材については、データダイエットの視点から、**音声付PPT**を推奨。
- 必要に応じ、Zoom等の利用も可。同時双方向型の講義・質疑応答のほか、動画のオンデマンド配信にも利用。
- アクセスポイントの提供。
- 実験・実習は、多くは対面で実施。
- 全学共通教育を担う教養教育院では、**実験・実習も同時双方向通信で実施**。
- NUCT（名古屋大学のLMS）上の小テスト機能等を使って、**すべての講義で課題（宿題）を指示**。

# 学生の状況把握

- 全学教育に対するアンケート（5月末）
  - 学生間、学生 - 教員間のコミュニケーションが課題
  - 新生が他学年に比べ、不安大
- 健康と生活習慣に関するアンケート（7月）
  - 約5割が、ストレスや不安を感じている
- 学生支援センター
  - 4月・5月の新規の相談申し込みが昨年度比で1.8倍増
- 教員からの連絡
  - LMS上のチャットやレポート等から、試験に向けて学生の精神的ストレス増加傾向
- 学期末教員意見交換（未確認・速報（工））
  - 2年生以上の成績が例年より低い？





誰でもどこでもできるストレス対処～10秒呼吸法でまず落ち着こう！

簡単に一人でもできる  
リラクゼーションです！  
ドキドキ、イライラ、落ち  
着かないとき、ぜひ、試し  
てみてくださいね！

**10秒呼吸法**

- ① 姿勢をととのえる、両手は軽くおなかの上に
- ② 静かに目を閉じる
- ③ 口から息を全部はき出す
- ④ 1, 2, 3...と鼻から息をすいながらおなかをふくらませる
- ⑤ 4で、いったん息を止める
- ⑥ 5, 6, 7, 8, 9, 10で、口から息をはきだしながらおなかをへこませる
- ⑦ ④～⑥をくり返す  
(数分間でも落ち着きます)

(名古屋大学学生支援センターのホームページより)

# 名大生と総長との対話

日時： 2020年8月26日（水）

16:00 - 17:30

方法： ZoomによるWebinar

参加学生数： 150名

目的： 総長との開かれた対話を通して大学  
に対する信頼関係を築き、学生にとって  
大学が安心感・居場所感を提供しうる場  
となることを目指す。

プログラム：

**16:00** 開会の挨拶（佐久間淳一 学生支援担当副総長）

**16:02** 総長の語り（松尾清一総長）

**16:12** 学生との対話

（松尾清一総長、藤巻朗 教育担当副総長、佐久間淳一 学生支援担当副総長）

**17:20** まとめ（ファシリテーター）

**17:25** エピローグとしての総長の語り（松尾清一総長）

ファシリテーター 松本真理子副総長補佐（学生支援総括）、  
鈴木健一学生支援センター副センター長



# 対話で出された意見

- 対面での授業を再開してほしい。
- なぜ、小中高校が再開しているのに大学は再開しないのか。
- 少人数でよいので、学生同士が集まれる機会・授業を設けてほしい。
- 実験・実習・演習に関しては感染防止策を講じながら実施してほしい。
- オンライン授業のメリットを感じたため、オンライン授業を残し、対面授業との併用を希望する。
- 感染することが不安。オンライン授業を選択できるようにしてほしい。

## 対面授業を実施することについては賛否両論それぞれあった

### 【事後アンケートの結果】

- 満足した学生が8割
- 今後誰と対話したいか（複数回答）  
1位 総長（63%） 2位 学部教員（48%） 3位 学部・研究科長（45%）  
※学生は授業もさることながら、教員との交流を求めている。

# 8月末時点の授業実施方針

## ◆警戒カテゴリー C（緊急事態）

### ◆活動指針

#### キャンパスに登校する学生数を抑制

- ・ **講義**の実施（**対面授業は行わず**、ICTを使った遠隔授業のみ実施）
- ・ **演習**の実施（**対面授業は行わず**、ICTを使った遠隔授業のみ実施）
- ・ **実験・実習**の実施（できるだけ対面授業は実施せず、**他の方法によることができない場合のみ対面実施可**。2 m以上の身体的距離を確保）
- ・ アクセスポイント提供

# 原点に立ち返って

- コロナウィルスによる学びに対する犠牲者を出さない
- 感染予防を自覚している人の感染リスクを下げる



# 秋学期（9月5日～）の授業実施方針

## ◆警戒カテゴリー B（高度警戒）

### ◆活動指針

- **感染拡大防止に最大限の留意をしつつ、学びの場を提供。ただし、キャンパスに来られない学生にも教育的配慮**
- **ポストコロナ時代に向け、オンラインによる授業と対面授業の良いところのベストブレンドの探求**
  - ・ 講義・演習の実施（対面授業を行う場合は**人数を限定の上で実施\***）
  - ・ 実験・実習の実施（対面授業を行う場合は**人数を限定の上で実施**）
  - ・ ICTを使った遠隔授業の積極的併用
  - ・ アクセスポイント提供

**\*教室の定員人数の半分。** 1 mを目安に身体的距離を確保。また、フェイスシールドを全教員に配布

# 収容人数制限下での具体的な授業実施方法

## 1. オンデマンド＋オフィスアワー

音声付きPPT等の教材による学習（遠隔授業：オンデマンド型）＋疑問点・質問等がある学生に教室で解説。（疑問点・質問等がある学生のみ登校）

## 2. 隔週登校＋オンデマンド

学生から見て、音声付きPPT等の教材による学習（遠隔授業：オンデマンド型）の週と、対面授業の週を交互に設定）

## 3. 短縮授業＋オンデマンド

90分の授業を40分ずつ2回に分けて、受講学生を半分ずつに授業を短縮して実施。不足する学修時間はオンデマンド型で教育効果を担保。

## 4. 対面授業の同時双方向配信

対面授業と遠隔授業（同時双方向型）の併用。

## 5. 同時双方向配信

# 新たな集いの場の提供（詳細は検討中）

感染リスクは、**授業** <<< **隙間時間、昼食時**

## ◆学生用スペースの拡大

- **全学・部局の空き教室**に加えて、**豊田講堂、生協の食堂（食事提供時間外）**をアクセスポイントとして開放
- **食事可能なスペース**も拡大、生協は**テイクアウト用弁当販売を強化予定**
- 各スペースに**消毒用備品**を設置（**手指消毒+デスク等消毒**）
- 学生は「**自分の身は自分で守る**」意識で行動